義務教育に関する

意識調査

(抜 粋)

「義務教育に関する意識調査」について

「義務教育に関する意識調査」とは、文部科学省からの委嘱により株式会社ベネッセコーポレーション・ベネッセ教育研究開発センターが平成17年3月から4月にかけて実施したものです。

この調査は、中央教育審議会で行われている義務教育改革に係る審議の検討資料とすることを目的に行われたもので、この結果に基づいてなされた分析の成果は、平成17年10月に出された中央教育審議会答申「新しい時代の義務教育を創造する」にも反映されています。

本資料は、第3回「義務教育に係る政策研究会」の参考資料とするため、この調査の 結果のうち、今回の協議事項に関連する項目を抜粋して作成しています。

グラフ等については文部科学省ホームページで掲載されている『義務教育に関する意識調査』概要版(平成17年11月公表)より引用

http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/17/06/05061901/gimukyouiku.htm

【調査概要】

	小学生調査	中学生調査	保護者調査	教員調査	教育長調査	首長調査
対 象	全国	全国	全国の小1~	全国小中の	都道府県、	都道府県
	小学校	中学校	中3の子を持	校長・教頭	市区町村	市区町村の
	4~6年	1~3年	つ保護者	・教員	の教育長	首長
調査期間	平成 17年	平成 17年	平成17年	平成 17年	平成 17年	平成 17年
	3月	3月	3月	3月~4月	3月~4月	3月~4月
調査校数	15	10	25 (小学校15 中学校10	1 , 219	-	ı
配布数	-	-	9 , 836	9 , 752	2,743 (悉皆)	2 , 747 (悉皆)
回収数	3, 350	2 , 924	6 , 742	2, 503	1 , 038	785
回収率	-	-	. 68. 5 %	25. 7%	37. 8%	28. 6%

1.「総合的な学習の時間」に対する意見

P 3

- (1)「総合的な学習の時間」に対する評価(小・中学生、保護者、担任) P3
- (2)「総合的な学習の時間」についての考え(小・中学生、保護者、担任) P 3 4 項目
- (3)「総合的な学習の時間」について思うこと(保護者、教員) P8
- (4)「総合的な学習の時間」の今後について(保護者、教員) P 10

3. 教育改革に対する意見

P 11

(1)授業や学習指導の改革に対する意見(保護者)

P 11

(2)教育改革に対する意見(教育長、首長)

P 12

*調査結果を見るに際しては、以下の点にご留意下さい。

1. 回答者の特性

本調査における保護者・教員の内訳

保護者回答数 6,742人 (小学生の保護者 4,432人)

(うち、3年生以上の子どもの保護者 2 , 9 5 1 人)

中学生の保護者 2,135人

無答・不明 175人

教員回答数 2,503人 1小学生担任 610人

中学生担任 451人

その他の教員及び無答・不明 1,442人

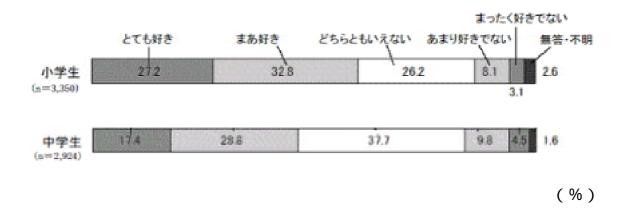
2 サンプルの特徴

調査対象校の選び方は無作為抽出であるが、児童生徒や保護者については対象 校単位で調査を実施しているため、児童生徒の通う学校の特性によって偏りが 出易い面がある。また、教員については、管理職の回答比率が高くなっており、 管理職の意向がより反映されている。

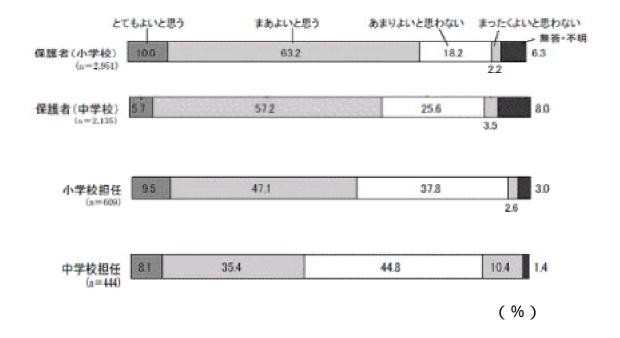
1. 「総合的な学習の時間」に対する意見

(1)「総合的な学習の時間」に対する評価(小・中学生、保護者、担任/学校段階別)

「総合的な学習の時間」の好き嫌い(小・中学生)



「総合的な学習の時間」の取り組みに対する評価(保護者、学校担任)



*「保護者(小学校)」

小学1、2年生は「総合的な学習の時間」を実施していないため、その保護者(1,481人)は「総合的な学習の時間」に関する設問には回答していない。

*「小学校担任」「中学校担任」

担任をしている学年をたずねた設問で、

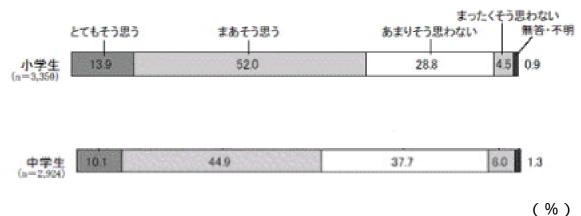
- ・「小1」から「小6」の担任と回答=「小学校担任」
- ・「中1」から「中3」の担任と回答=「中学校担任」

とし、さらにそのうち本設問に回答した数を母数としている。(次頁以下、同様)

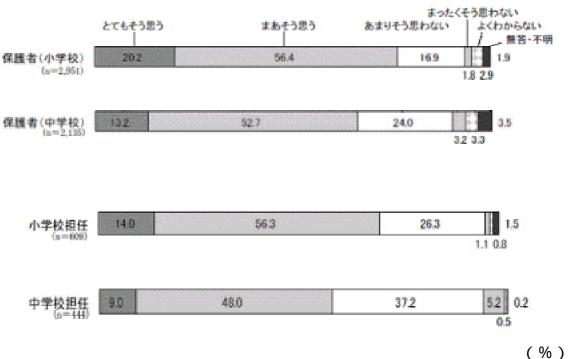
(2)「総合的な学習の時間」についての考え

自分が興味や疑問を持った点を自分のやり方でとことん学習できる

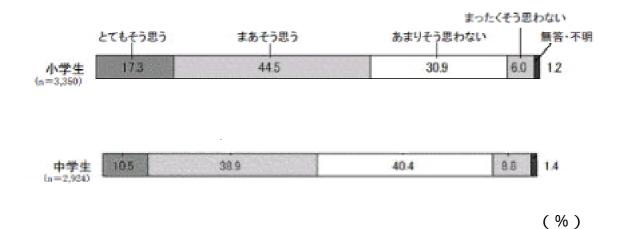
(小・中学生)



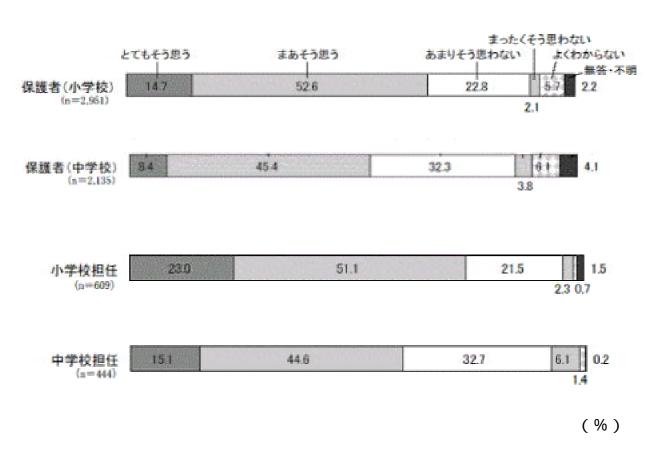
自分で調べたり、考えたりするなど、積極的に学習する意欲や表現する力が身に付 く(保護者、担任)



地域の歴史や文化、産業に直接ふれることができる(小・中学生)



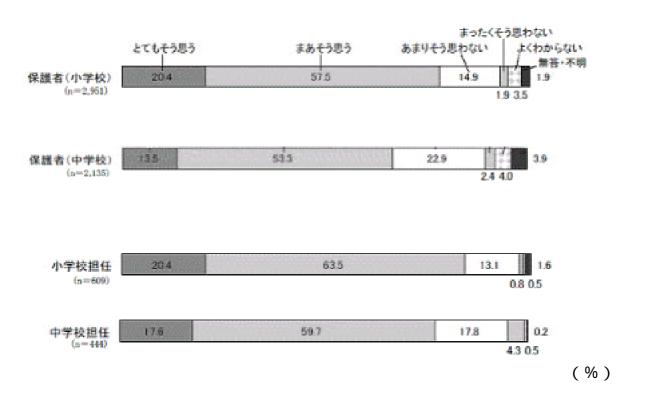
地域の特性や学校の創意工夫を生かした特色ある教育が展開できる(保護者、学校担任)



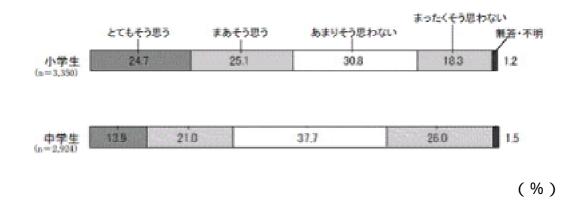
普段は体験できないようなことが体験できる(小・中学生)



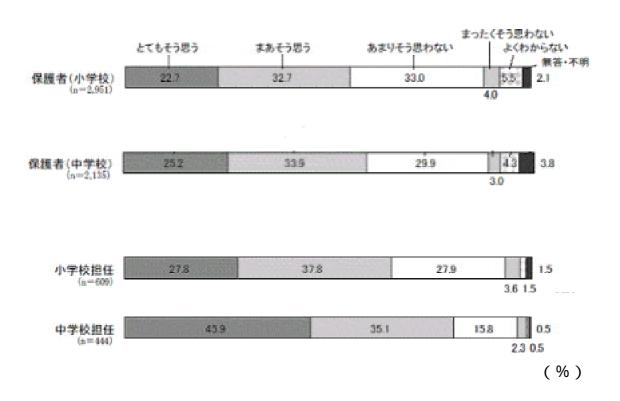
自然体験や社会体験などさまざまな体験活動を行うことができる(保護者、学校担任)



国語や算数など強化の授業をやった方がよい(小・中学生)

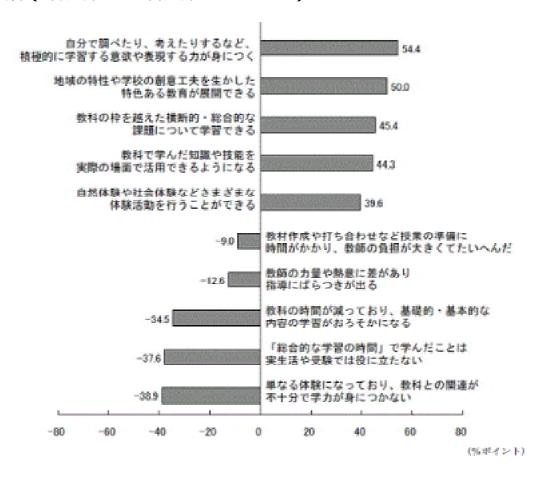


教科の時間が減っており、基礎的・基本的な内容の学習がおろそかになる (保護者、学校担任)



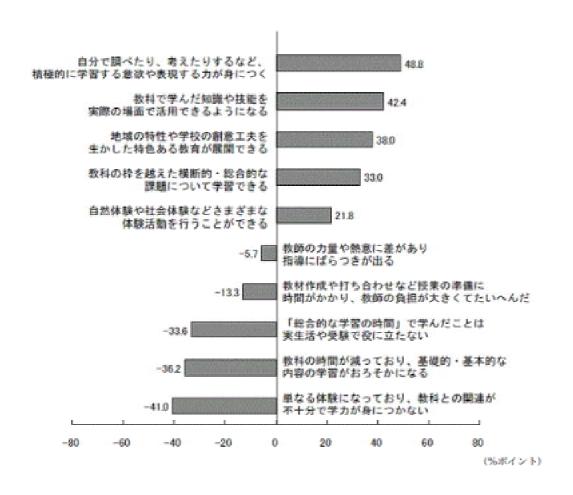
(3)「総合的な学習の時間」の取り組みについて思うこと

保護者(「肯定群」 - 「否定群」のポイント)



- *保護者に「総合的な学習の時間」の取り組みについての評価をたずねた設問で、
 - ・「とてもよいと思う」「まあよいと思う」と回答=「肯定群」(3,505人)
 - ・「**あまりよいと思わない」「まったくよいと思わない」と回答 = 「否定群」(1,224人**) とした。(なお、「無答・不明」357人は除く)
- *その上で、上記の各項目について「そう思う」比率 (「とてもそう思う」と「まあそう思う」の合計)を「肯定群」「否定群」別に算出し、「肯定群」の「そう思う」比率から「否定群」の「そう思う」比率を引いて作図した。((4)についても同じ)

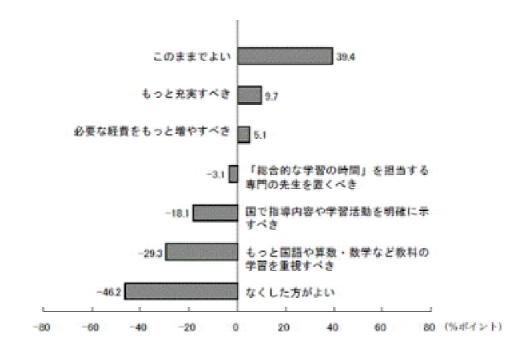
教員(「肯定群」 - 「否定群」のポイント)



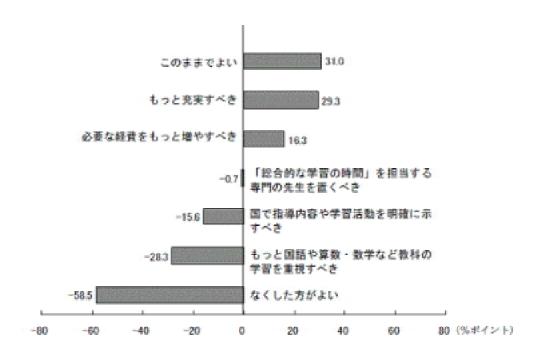
- *日頃児童生徒の学習指導をしているとして「総合的な学習の時間」の取り組みについての評価の設問に答えた教員(1,904人)を母数として、
 - ・「とてもよいと思う」「まあよいと思う」と回答=「肯定群」(1,000人)
 - ・「あまりよいと思わない」「まったくよいと思わない」と回答 = 「否定群」(846人) とした。(なお、「無答・不明」58人は除く。)
- *その上で、上記の各項目について「そう思う」比率 (「とてもそう思う」と「まあそう思う」の合計)を「肯定群」「否定群」別に算出し、「肯定群」の「そう思う」比率から「否定群」の「そう思う」比率を引いて作図した。((4)についても同じ)

(4)「総合的な学習の時間」の今後について(保護者、教員)

保護者(「肯定群」-「否定群」のポイント)



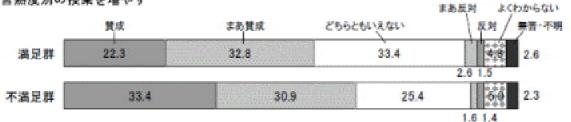
教員 (「肯定群」 - 「否定群」のポイント)



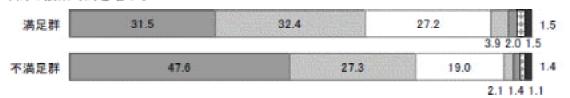
2. 教育改革に対する意見

(1)授業や学習指導の改革に対する意見(保護者/学校満足度別)

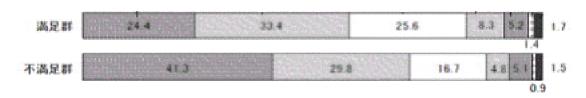
●習熟度別の授業を増やす



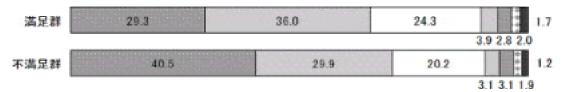
●年間の授業時間を増やす



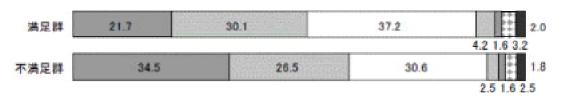
◆放課後や土曜日、夏休みなどに補管授業を行う



●小学校から英語活動を必修にする



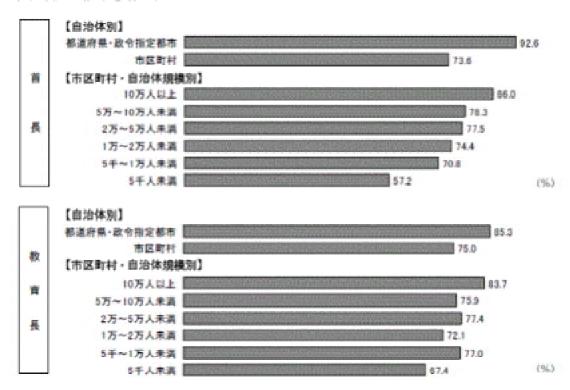
●教科書に盛り込む内容を増やす



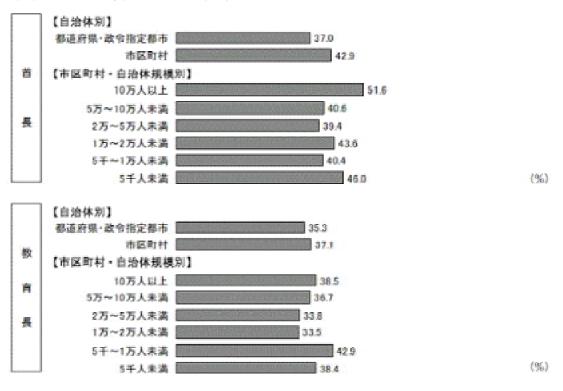
- *保護者に「学校に対する総合的な満足度について」たずねた設問で、
 - ・「とても満足している」「まあ満足している」と回答=「満足群」(4,716人)
 - ・「あまり満足していない」「まったく満足していない」と回答 = 「不満足群」(1,854人) とした。(なお、「無答・不明」172人は除く。)

(2)教育改革に対する意見(首長・教育長/自治体規模別)

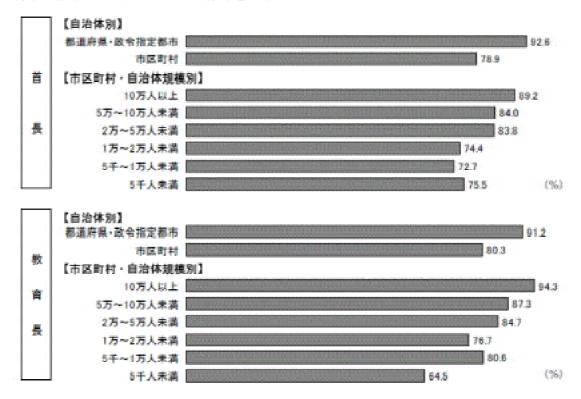
●習熟度別の授業を増やす



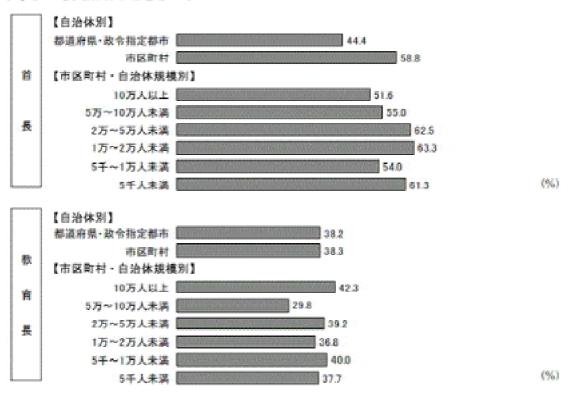
●放課後や土曜日、夏休みなどに補管授業を行う



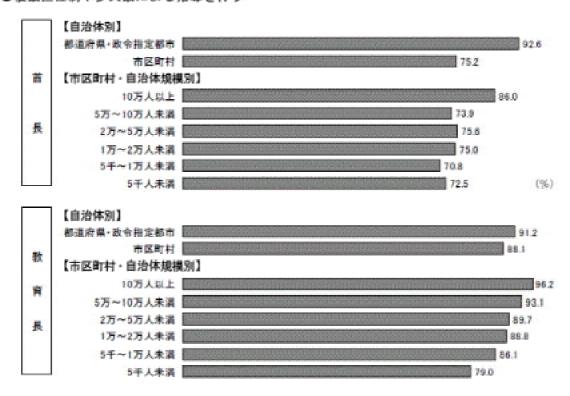
●将来の職業や生き方についての指導を行う



●小学校から英語活動を必修にする



●複数担任制や少人数による指導を行う



*「賛成」と「まあ賛成」の合計(%)。

*【自治体別】のサンプル数

規 模	首 長	教 育 長
都道府県・政令指定都市	2 7人	3 4人
市区町村	757人	987人

*【市区町村・自治体規模別】のサンプル数

規 模	首 長	教 育 長
「 10 万人以上」	9 3人	104人
「5万~10万人未満」	6 9人	8 7人
「2万~5万人未満」	160人	2 2 2 人
「1万~2万人未満」	172人	2 1 5 人
「5千~1万人未満」	161人	2 1 7人
「5千人未満」	9 8人	138人
無答・不明	4人	4人
計	757人	987人